

Futaba R6008HS/R6014HS



この度は **FASST** 方式、高速応答、8/14 チャンネル受信機 **R6008HS/R6014HS** をお買上げいただきまして誠にありがとうございます。

この受信機は弊社製デジタルサーボと合わせてご使用いただくことにより、高速応答動作が可能となります。なお、ご使用のサーボに合わせて、下記の2つの動作モードが選択できます。

ハイスピードモード／ノーマルモード

●この受信機は別表の **FASST** システム送信機およびモジュールに対応します。

ハイスピードモード使用時の注意

△注意

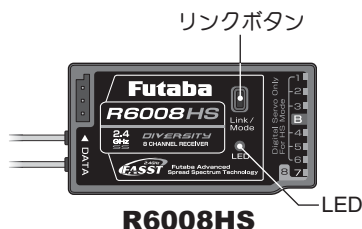
ⓘ **ハイスピードモード時、チャンネル1～6は弊社デジタルサーボ専用出力です。**

■アナログサーボを使用するとサーボや受信機の故障の原因となります。

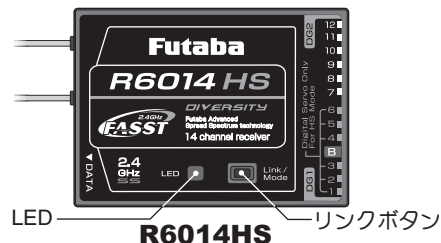
■下記のチャンネルはアナログサーボも使用できます。

R6008HS : チャンネル7および8

R6014HS : チャンネル7～12、DG1およびDG2



R6008HS



R6014HS

FASST-2.4GHz システム 送信機・モジュール vs. 受信機 対応表

送信機・モジュール		受信機	
		R6004FF, R616FFM R6106HF/HFC R617FS	R608FS, R6008HS R6014FS/HS
TM-14 モジュール	Multi-ch モード	----	○
	7ch モード	○	----
T10CG 2.4GHz 送信機	10ch モード	○	○
	7ch モード	○	----
TM-10 モジュール	10ch モード	----	○
	7ch モード	○	----
T8FG 2.4GHz 送信機	8ch モード	○	○
	7ch モード	○	----
TM-8 モジュール	8ch モード	----	○
	7ch モード	○	----
T7C 2.4GHz 送信機		○	----
T6EX 2.4GHz 送信機		○	----

○ : 対応します。 ---- : 対応しません。

ハイスピードモード設定時は、1～6 チャンネルがデジタルサーボ (ブラシレスサーボを含む) 専用の出力 (高速応答動作) となります。ただし、1～6 以外のチャンネルはハイスピードモード設定時でもノーマルモードと同様の動作となります。アナログサーボが使用可能です。

ノーマルモード時は、すべてのチャンネルでアナログサーボまたはデジタルサーボが使用可能です。

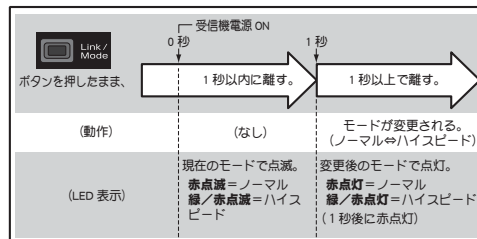
モード変更

ハイスピードモードまたはノーマルモードへの変更は下記の方法で行ってください。

(初期設定はノーマルモード)

- 1 受信機電源を OFF にします。
- 2 **Link/Mode** ボタンを押した状態で、受信機電源を ON にします。その後、**Link/Mode** ボタンは1秒以上保持します。(LEDが現在のモードで点滅します。)
- 3 ボタンを離します。
- 4 受信機電源を OFF にします。

※上記の操作でハイスピードモードとノーマルモードを交互に切り替えることができます。



【動作モードの確認】

受信機側のみ電源を ON にして、LED で動作モードを確認することができます。

受信機電源 ON 後 :

- ・赤点灯の場合はノーマルモード
- ・緑／赤ともに点灯 (2秒後に赤点灯) の場合はハイスピードモード

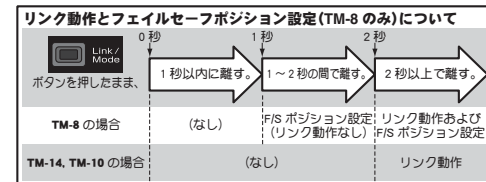
※周囲で **FASST-2.4GHz** 送信機が使用されていない状況で確認してください。周囲で **FASST-2.4GHz** 送信機が使用されている場合、上記のように一瞬点灯後、直ちに下表で示す状態表示に切り替わります。

LED 表示

緑色	赤色	状態
点灯	点灯	初期化中
消灯	点灯	無信号時
点灯	消灯	通常動作時
点滅	消灯	受信信号の ID が不一致

リンク操作 / F/S ポジション設定

Link/Mode ボタンによりリンク操作または F/S ポジション設定 (TM-8 時) が可能です。



※リンク操作、F/S ポジション設定方法等の詳細は、ご使用の送信機またはモジュールの取扱説明書をご覧ください。

⚠警告

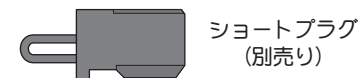
⊘ リンク操作時は動力用モーターが接続された状態やエンジンがかかった状態では行わないでください。

■不意にモーターが回転したり、エンジンが吹け上がったりすると大変危険です。

ⓘ リンク操作が完了したら、一旦受信機の電源を OFF とし、リンクした送信機で操作ができることを確認してください。

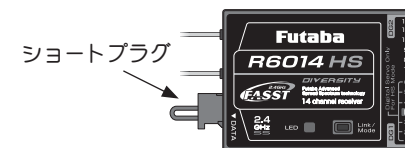
MPDX-1 使用時の設定 (R6014HS のみ)

マルチプロップデコーダ **MPDX-1** をご使用の場合、下記のショートプラグを別途ご準備ください。



ショートプラグ (別売り)

R6014HS の "DATA" ポートにショートプラグを接続します。



これにより、チャンネル 11 と 12 で **MPDX-1** が使用可能となります。

※ **MPDX-1** を使用しないときは、"DATA" ポートにショートプラグを接続しないでください。

※ "DATA" ポートにショートプラグを接続した場合、チャンネル 11 と 12 がともに **MPDX-1** 用の出力となります。チャンネル 11 と 12 を個別に **MPDX-1** 用の出力とすることはできません。